

国語科実践提案

— 北川基洋 丹下侑輝 野々村琢磨 古村真里江 干場康平 —

1 これまでの国語科の取組

国語科で大切にしてきたこと

国語科部では、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成するために、言語内容と言語表現を一体的に理解し、一体的に表現することを国語科の本質と捉え、実践を行っている。

言語内容と言語表現を「一体的に理解し、一体的に表現する」とは、「どんな内容が、どのように表現されているかと考え、このように表現されているから、このようによく分かる」と理解したり、「どんな内容を、どのように表現するかと考え、この内容を伝えたいから、このように伝える」と表現したりすることである。

国語科の授業を通して、この言語内容と言語表現を一体的に理解し、一体的に表現する力を身に付けていくことは、言語の正誤・適否・美醜といった、言語に対する感覚を養うとともに、言葉がもつよさや価値を捉え、日常生活や社会生活の中で、正しく豊かに言葉を使っていくことにつながると考えている。

2 自己実現に向かう資質・能力にかかわる

手立て

(1) 問題解決力について

常に課題（自己課題）に立ち戻り、粘り強く問題解決する方途を俯瞰的に考え、理解を深めたり、表現を高めたりする姿

個別の学習目標や振り返りの位置付け

様々な「人・もの・こと」に対しての理解や表現の課題を、一人一人が自分ごとの問題として捉え、言語活動を通してその問題を解決していくことが、国語を正確に理解し、適切に表現する資質・能力とともに問題解決力を育むことにつながると考える。

そこで、国語科では、順次、個別の学習目標や振り返りを位置付けるようにした。単元導入時に、教師が単元終末の見通しを示し、児童・生徒が単元終末に向けてどのように学習を進めていくとよいかを考えられるようにした。児童生徒が単元を俯瞰できるようにした上で、個別の学習記録を作成し、一人一人が自己省察や学習調整を行えるようにする。

9年間を通して、個々で学びを進め、問題解決していく力を育てていくためには、低学年では、単元の課題が一人一人の課題になっているかを確認しながら学習を進める。児童が楽しいと感じ、できた、分かったと実感できるように全員で学習を進めながら、「本時のめあてが達成できたか。」「次時は何をしていくか。」と振り返る過程を丁寧に行い、学び方、取り組み方を身に付けられるようにしていく。中学年以降では、「できたこと」とともに、「できなかったこと・もっとできるようになりたいこと」にも目を向けて自己省察をする。自己省察ができるようになってきた児童生徒には、次時の課題づくりや課題の修正などの学習調整ができるように促していく。9年間、この営みを繰り返していくことで、自己省察して、自己を見つめることで、自己課題がもてる児童生徒を育てていきたい。

(2) 関係構築力について

言葉を通して、相手の理解や表現を捉え、言葉を駆使して自分の理解や表現を伝える姿

情報の取り扱いに視点を おいた時間の位置付け

言語による関係構築力を育成していく上で、話や文章に含まれている情報について、「何がどのように伝えられているか」「何をどのように伝えるか」を意識して、理解したり、表現したりすることが重要であると考え。効果的な情報の取り扱い方

を理解し、実際に表現していくことが、相手の考えを理解・整理し、自分の考えを効果的に表現・発信する基盤になると考える。

そのため、言語内容の中から「共通、相違はないか。」「順序はどうか。」「意見とその根拠はどこか。」「具体と抽象は何か。」などの情報を見付け、その表現効果を考えながら読んだり、聞いたりする。また、自分が伝えたいことを効果的に伝達・発信するために、どのように情報を示していくのかを考えながら書いたり、話したりする言語活動を意図的・計画的に仕組むことで、関係構築力を育成していきたい。

(3) 貢献する人間性について

仲間や社会に対して、自分の考えや思いを正しく豊かに発信することで、活動をよりよいものにしようとしている姿
--

主体的に取り組むことができる言語活動の設定

前述したように、国語科では、言語活動を通して、言語内容と言語表現を一体的に理解し、一体的に表現することで、国語科の資質・能力を育てている。そして「人・もの・こと」に対して、自分が親和的・建設的な意図をもって言語活動を通して働きかけていくことができれば、その対象となる「人・もの・こと」への敬意や創造性の付加につながり、貢献する人間性を育むことになると考えた。

そのため、主体的に取り組むことができる言語活動を設定する。その言語活動を支える三つの要素として、将来性（自分・日常・社会の役に立つ・目的意識）・依頼性（誰かの役に立つ・相手意識・使命感）・体験性（活動的であるもの、やってみたいと感じられるもの）を重視して、言語活動を設定していきたい。

3 単元の指導計画

学年	第2学年	単元名	「自分とすみれちゃん交流会」をしよう（全10時間）
単元で育む資質・能力			
<ul style="list-style-type: none"> ・身近なことを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。〔知識及び技能〕（1）オ ・文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C（1）オ ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C（1）エ ・「自分とすみれちゃん交流会」に向けて、読みの課題意識をもって本文を読もうとする。「学びに向かう力、人間性等」 			
時	主な学習活動とねらい		自己実現に向かう資質・能力を発揮している姿
①	学習の計画を立てよう ・「わたしはおねえさん」を読む。 ・本単元の言語活動を確認し、学習目標を設定して学習の見通しをもつことができる。		「自分とすみれちゃん交流会」に意欲をもちながら、本文を読もうとする姿（問題解決力）
②	「すみれちゃん」はどんな女の子なのか、考えながら読もう ・「すみれちゃん」の行動や会話に着目し、「すみれちゃん」はどのような人物なのかを叙述をもとに考えることができる。		「すみれちゃん」がどのような人物なのかを、「すみれちゃん」の行動や会話から見付けようと読む姿（問題解決力）
③	心にのこったところをカードに書こう ・「すみれちゃん」の行動や会話に着目し、心に残ったところと理由を考え、カードに書くことができる。		「すみれちゃん」の行動や会話の中から心に残ったところを探そうと、「すみれちゃん」の様子を想像しながら読む姿（問題解決力）
④	心にのこったところをこうりゅうしよう ・心に残ったところを仲間と対話する中で、「すみれちゃん」の行動や会話の中で「なぜそうしたのか分からないところ」を確かめ、読み深める課題を設定することができる。		仲間の心に残った「すみれちゃん」の行動や会話について、仲間とその理由を尋ねたり、感想を伝えたりする姿（関係構築力）
⑤ ⑥ 本時	「すみれちゃん」のようすをそうぞうして読もう ・「すみれちゃん」の行動や会話に着目し、自分の経験と比べながら読むことを通して、「すみれちゃん」の様子について想像することができる。		「すみれちゃん」の行動や会話について、自分の経験と比べて様子や理由を想像しながら読む姿（問題解決力）

⑦	<p>一番心にのこったところについてまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すみれちゃん」の行動や会話の中から一番心に残ったところを選び、「すみれちゃん」の言動について、理由や思ったことをまとめることができる。 	<p>「自分とすみれちゃん発表会」に向けて、自分が一番伝えたい心に残ったところはどこかを選ぼうと考える姿（貢献する人間性）</p>
⑧ ⑨	<p>「自分とすみれちゃんカード」を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分とすみれちゃんカード」に、一番心に残ったところについて、「すみれちゃん」と自分を比べた感想を書きまとめることができる。 	<p>「自分とすみれちゃん発表会」に向けて、「すみれちゃん」と自分を比べた感想を仲間に伝えるためにカードに書く姿（貢献する人間性）</p>
⑩	<p>「自分とすみれちゃん交流会」をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分とすみれちゃん交流会」を行い、仲間と自分の感想を比べながら交流することで、自分の考えと同じところや違うところに気付き、交流した感想を仲間と伝え合うことができる。 	<p>「自分とすみれちゃん発表会」の中で、仲間の感想と自分の考えを比べ、感じたことを仲間に伝えようと話す姿（貢献する人間性）</p>

研究にかかわる見届けの視点と手立て

問題解決力	<p>単元や単位時間、次時への見通しをもった上で自分の学習目標を設定し、単位時間ごとに課題意識をもちながら取り組んでいるか、学習記録表から見届ける。</p>
関係構築力	<p>仲間と対話する中で、「すみれちゃん」に対する自分の感想を伝えたり、仲間の感想について理由を尋ねて仲間の考えに感想を伝えたりしているか、交流の様子から見届ける。</p>
貢献する人間性	<p>仲間に心に残ったことを伝えようとカードに書いたり、仲間の感想と自分の考えを比べて感じたことを仲間に伝えようしたりしているか、「自分とすみれちゃん交流会」の準備や本番の様子から見届ける。</p>

4 教科にかかわる本時のねらい

かりんちゃんの絵を消そうとしてやめたすみれちゃんの行動や会話に着目し、自分の経験と比べながら読むことを通して、すみれちゃんの様子について想像することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕

5 本時の展開（6/10）

児童の学習活動	教師の手立てと見届け
<p>1 本時のめあてを確認する</p> <ul style="list-style-type: none">・前の時間で、すみれちゃんは、かりんちゃんが自分のノートに絵をかいてしまったことに半分泣きそうになっていたよ。わたしも弟に自分が作ったブロックを崩されて、泣いたことがあったよ。・今日のすみれちゃんは、どんな様子かな。 <p>すみれちゃんのしたこと、言ったことから、「自分とすみれちゃん交流会メモ」をまとめよう。</p> <p>2 「すみれちゃん」の行動や会話などの叙述に着目して、「すみれちゃん」の様子を想像する（個人→ペア交流→全体交流）</p> <ul style="list-style-type: none">・すみれちゃんが「あはは。」と笑っていたから、もうかりんちゃんに怒っていないと思います。・すみれちゃんは、「コスモスになんかちっとも見えないぐちゃぐちゃの絵が、かわいく見えてきた」から、かりんちゃんのことを許していると思います。・すみれちゃんは、かりんちゃんの絵を「けしかけて、でもけすのをやめて」いるから、かりんちゃんが描いた絵を大切にしようと思ったのだと思います。 <p>3 ペアや全体での対話を通して考えた、「すみれちゃん」の言動について心に残ったところとその理由や考えについて、交流会メモに書く（個人→全体交流）</p> <p>すみれちゃんが、かりんちゃんの絵を消さなかったところが心に残りました。僕だったら、宿題のノートに絵を描かれたらすぐに消してしまうと思ったからです。かりんちゃんのことを思っていてやさしいと思いました。</p> <p>4 振り返りを行う</p> <ul style="list-style-type: none">・すみれちゃんのしたこと、言ったことから、自分と比べながら、交流会メモが書けました。次の時間は、お話の中で一番心に残ったところを選んでまとめたいです。	<p>○児童が学習への見通しや意欲がもてるよう、学習記録表を用いて、前時までの学習や本時したいことを確かめる。</p> <p>研究にかかわって</p> <p>【見届けの視点】</p> <p>学習課題をもち、「すみれちゃん」の行動や会話について、自分の経験と比べて様子や理由を想像しながら読む姿を交流会メモの書きぶりから見届ける。（問題解決力）</p> <ul style="list-style-type: none">・すみれちゃんの様子を想像できない児童に対しては、叙述をもとに考えられるよう、具体的な叙述を示す。・仲間との学びがより深められるよう、交流の際には、内容を伝え合うだけでなく、なぜそう思ったのか尋ね合うよう声をかけ、尋ね合っている姿を価値付ける。 <p>【評価規準】</p> <p>かりんちゃんの絵を消そうとしてやめたすみれちゃんの行動や会話からすみれちゃんの様子について想像している。</p> <p style="text-align: right;">〔思考・判断・表現〕</p>

3 単元の指導計画

学年	第8学年	単元名	立場を尊重して話し合おう～討論で多角的に検討する（全5時間）
単元で育む資質・能力			
<ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠には適切な結びつき方があることを理解することができる。〔知識及び技能〕(2)ア 立場を明確にして、適切な根拠とともに意見を述べるすることができる。〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)イ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合することができる。〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)オ 言葉がもつ価値を認識するとともに、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」 			
時	主な学習活動とねらい		自己実現に向かう資質・能力を発揮している姿
①	<p>◎意見と根拠には適切な結びつき方があることを理解することができる。</p> <p>・学習のねらいや進め方をつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <p>モデルを見て、学習の見通しをもちながらシラバスフォリオを書こう</p> <p>・モデルの発表を見る。</p> <p>・シラバスフォリオを書く。</p>		学習の見通しをもちながら、自己の学習目標を立てている姿（問題解決力）
②	<p>◎比較の方法を知り、実際の活動で生かすことができる。</p> <p>相手の考えを理解するための比較の方法を学ぼう</p> <p>・比較の方法を学ぶ。</p> <p>・資料の内容を比較しながら読み、まとめる。</p> <p>・話合いの中で生かせる比較の方法について考える。</p>		比較する方法を学び、それを活用して相手の意見を読む姿（関係構築力）
③	<p>◎立場を明確にして、適切な根拠とともに意見を述べるができる。</p> <p>資料を読み、自分の考えをもち、相手に共感してもらえよう</p> <p>・資料を読み、自分の考えをもつ。</p> <p>・話す内容を整理し、共感性の高い内容になるよう工夫する。</p>		自己の学習目標に照らし合わせながら、学習の調整を行っている姿（問題解決力）
④ 本時	<p>◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合することができる。</p> <p>お互いの意見を尊重しながら、討論しよう</p> <p>・討論する。</p> <p>・動画で自分たちの討論を見返し、相手の意見を尊重できている部分を探す。</p> <p>・尊重するためのポイントを整理し、自分たちの話合いに生かす。</p>		自分の意見と相手の意見を比較しながら、討論する姿（関係構築力）

⑤	<p>◎互いの立場や考えを尊重するような言葉を用い、積極的に自分の意見を話したり、相手の意見を受け入れたいとすることができる。</p> <p>お互いの意見を尊重するような言葉を用い、討論しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 討論する。 ・ 今回の学びを振り返る。 	<p>将来に生かせることをまとめながら、自分の考えをもととしている姿</p> <p>(貢献する人間性)</p>
研究にかかわる見届けの視点と手立て		
問題解決力	シラバスフォリオに書かれる記述から、学習に対する見通しをもっているか、今後の学習を自己で調整しようとしているかを見届ける。	
関係構築力	情報の取り扱い方に関する指導を基に、仲間と建設的な学習を積極的に行っているか見届ける。	
貢献する人間性	将来を意識して、自己の学びを積極的に社会に貢献しようとしているか、まとめの記述を見届ける。	

4 教科にかかわる本時のねらい

互いの立場や考えを尊重するような言葉を用い、積極的に自分の意見を話したり、相手の意見を受け入れたりしようとすることができる。

[思考力、判断力、表現力等]

5 本時の展開（4/5）

生徒の学習活動	教師の手立てと見届け
<p>○前時の振り返りをする</p> <ul style="list-style-type: none">自分の意見をまとめることができた。自分以外の人があるようなことを言うのか、楽しみ。相手の意見を受け入れるように話したり聞いたりすることが大事なので、それらを意識できるようにがんばろう。 <p>○課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">お互いの意見を尊重するような言葉を用い、討論しよう。</div> <p>○討論をする</p> <ul style="list-style-type: none">私は救急車を有料にするべきだと考える。理由は自己負担することが、救急隊員の負担を減らすことにつながるからだと思うからだ。（根拠として、救急隊員の勤務状況として、過酷な現実があることを示す。）私は救急車を無料で利用できることを続けるべきだと考える。理由は、気軽に利用することができなくなってしまうと、救える命が救えない可能性があるからだ。（根拠として、高齢者の収入状況や緊迫具合を示す。） <p>○討論を見返し、よい部分を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none">〇〇さんは仲間の意見のよい部分を挙げて、自分の意見を言うことができている。△△さんは相手の意見の根拠の部分に納得して、うなずきながら聞くことができている。□□さんは相手の意見のよさと自分の意見のよさを結びつけて話すことができている。 <p>○まとめを書く</p> <ul style="list-style-type: none">相手の意見の聞き方、自分の意見を言うときに、相手の意見のよい部分を取り入れながら話すことによって、お互いの考えがまとまりながら討論することができると分かった。今後の話合いの場でも意識していきたい。	<p>教師の手立てと見届け</p> <ul style="list-style-type: none">意見を発表できる発表メモを作成する。意見・理由・根拠等を整理し、自分の立場が明確になるようにしておく。話し方・聞き方で相手を尊重することができることを押さえる。相手の言葉を話型の使い方にも意識を巡らせて、よく聞くように指示する。討論の順序を示す。<ol style="list-style-type: none">① 司会を決める② 意見を言う順を決める③ 質問・反論をする④ 意見の相違点をまとめ、議論し結論を出す。 <p>○相違点が整理できるように、お互いの立場、理由・根拠、感じ方の違いをまとめてホワイトボードに書くよう指示する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"><p>研究にかかわって</p><p>【見届けの視点】</p><p>自分の意見と相手の意見を比較しながら、何が違うのか明確にしながらか討論している姿を発言内容から見届ける。</p><p style="text-align: right;">（関係構築力）</p></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"><p>【評価規準】</p><p>互いの立場や考えを尊重するような言葉を用い、積極的に自分の意見を話したり、相手の意見を受け入れたりしようとしている。[思考・判断・表現]</p></div>